

目指す学校像	○安全かつ安心して学び、生活できる学校○学ぶ喜びを実感できる学校○活気にあふれ、あいさつがとびかう明るい学校
--------	--------------------------------------------------------

重点目標	1 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現 2 安全・安心な学校に向けた積極的な生徒指導ときめ細かな教育相談体制の充実 3 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進 4 学校課題研修及び職員研修を通じた教職員の資質向上
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標			年度評価				実施日令和6年2月15日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○令和5年度全国学力・学習状況調査では、国語、数学、英語において、全国、県平均正答率を下回っている。 ○令和5年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合が全国、県平均を上回っている。  (課題) ○基礎学力の向上が課題である。学習の仕方を提示し、家庭学習を含めた継続的な学習習慣を身に付けさせることが必要である。	・生徒の学力、学習状況や課題を把握し、それを踏まえた個別最適な学びの推進  ・学ぶ喜びを実感できる協働的な学びの実現	①全国学力・学習状況調査や市学習状況調査の結果を基に、市教委の学力向上カウンセリング研修を受けることにより、正確な実態把握と自校の課題解決に繋げる。 ②スタディサプリ等を学校や家庭で活用し、個別最適な学習を進め、基礎学力の向上を図る。 ③川通中チャレンジカップを実施する。	①学力向上カウンセリング研修を実施し、分析結果をもとに、今後の指導に生かすことができたか。 ②学校評価(生徒・保護者)の家庭学習や基礎学力の定着に係る項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ③基本事項の繰り返し指導や授業の振り返りなどを継続して行い、生徒それぞれの学習への取組状況を確認し、個々の努力を承認できたか。				
			①教員相互の授業参観や校内研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。 ②異学年間の学びや多様な他者との交流の機会を充実させる。 ③ICTを活用し、多様な意見を共有しつつ、合意形成を図る活動を充実させる。	①学校評価(生徒・保護者)の分かりやすい授業に係る項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ②異学年間の学びや多様な他者との交流の機会を設定できたか。 ③協働的な学びの実現にむけたICTの効果的な活用を工夫できたか。				
2	(現状) ○令和5年度全国学力状況調査・令和5年度市学習状況調査の「学校に行くのが楽しいか」との質問に肯定的な回答をした生徒の割合は全国、県、市平均を上回っている。 ○生徒指導や教育相談に関する対応について、該当学年を中心に組織的に迅速に対応している。 ○校舎等老朽化が目立つ。  (課題) ○配慮を要する生徒個々への対応が課題である。個に応じた支援や相談体制をより一層確立することが重要となる。 ○自転車の乗り方のマナー指導の徹底をはじめ、学校周囲の環境に関わる安全指導が必要である。	・積極的できめ細かな生徒指導の推進・教育相談の充実  ・安全な生活実現に主体的に取り組む生徒の育成	①スクールダッシュボードにより、生徒の変化を早期に発見し、いじめ対応や教育相談上の悩みを抱えた生徒に対し、迅速に組織的に対応する。 ②校内教育支援センター「Sola るーむ」を開設し、個に応じた多様な学びの場の確保や生徒一人ひとりに寄り添った支援を行う。	①学校評価(生徒・保護者)のいじめやその他の相談等に関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ②生徒一人ひとりを大切に、悩みや相談、課題等に対し、誠実、迅速に組織的に対応できたか。				
			①交通安全に関する集会を設け、定期的に事故防止について指導し、登下校時等の事故を未然に防ぐ。 ②施設設備の安全点検等から、危険などを早期発見し、素早い対応を行う。	①学校評価(生徒・保護者)の安全な登下校に関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ②安全点検を確実に実施し、素早い修繕ができたか。				
3	(現状) ○本校は地域の伝統校として認知されており、地域が学校にたいへん協力的である。そのため、地域と連携を図った教育活動が企画しやすい境下にある。 ○令和5年度全国学力状況調査の「今住んでいる地域の行事に参加しているか」との質問に肯定的な回答をした生徒の割合は全国、県平均を下回っている。  (課題) ○地域との交流活動を積極的かつ計画的に行っていく。 ○学校外の様々な地域活動で子どもが参加できる機会を確保していく。	・子どもが主役となるコミュニティ・スクールの推進  ・開かれた学校づくりの推進	①学校運営協議会等で生徒が参加できる場を設定するなど、子どもが主役となり、エージェンシーが発揮される場面や機会を創出し、社会の担い手となる人材を育成する。 ②地域と連携した防災教育を通じて、災害時に「自助」「共助」ができる子どもを目指し、長期的な展望として、避難所設営を補助できる力をつけさせる。	①地域活動等で、生徒が参加できる機会を設定できたか。 ②学校評価(生徒・保護者)の地域の一員に関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。				
			①学校HPの内容の充実と適宜適な更新や毎月の便りの発行等により、学校の情報を広く発信する。 ②学校教育活動の参観、公開を適宜実施する。	①学校評価(保護者)の学校ホームページに関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ②毎学期、保護者の来校機会を設定できたか。				
4	(現状) ○令和5年度学校評価(教職員)「時間外勤務の短縮、業務の効率化等、業務改善が進んだか」の項目において、63.2%の教職員が肯定的な回答をしている。 ○教職員の平均年齢が低い。  (課題) ○全教職員で取り組む学校課題研究等での新たな学び合いと教職員の資質・組織力の向上。 ○働き方改革をさらに推進し、教職員の負担感を減らすことが課題である。 ○経験年数の少ない教員への指導法の継承が課題である。	・学ぶ意欲の高い教職員集団の育成と協働、協働し合える組織力の向上	①学校課題研究「学校安全」の研究推進を図るため、校内研修を計画的・組織的に実施して学び合い、指導力・組織力を高める。 ②ダッシュボードを活用した「教え方改革」と資料等のICT化を活用した「働き方改革」の推進。 ③教職員の資質向上に関わる校内研修を年間4回以上実施する。	①学校評価(生徒・保護者)の安全教育・防災教育に関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか ②学校評価(教職員)働き方改革の項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ③学校評価(教職員)校内研修の項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。				